静止画（カメラ）の撮影

内蔵のモバイルカメラにより、静止画の撮影をすることができます。
静止画の撮影には写メールモード、デジタルカメラモード、特撮モードがあります（☞8-2ページ）。写メールモードはさらに通常・旅・連写の3モード、特撮モードはさらにバーチャルウィッグ・バーチャルトリップの2モードから選択できます。フレーム、タイマー、シャッター音、画像効果の設定などが行え、撮った画像はJPEG形式（パソコンで主流の保存形式）でデータフォルダに保存します。また、顔写真を撮影してメモリダイヤルに登録したり、ピクチャーつく～る（☞8-32ページ）や、アニメつく～る（☞9-21ページ）を利用することもできます。

● データフォルダについては9章を参照してください。

機能設定	写メールモード（通常モード）	写メールモード（旅モード）	写メールモード（連写モード）	デジタルカメラモード	バーチャルウィッグモード	バーチャルトリップモード
連写 連続して9枚の写真撮影を行います	—	—	○	—	—	—
サムネイル表示（自動登録設定OFF時） 9つの画像を一度に表示します	—	—	○	—	—	—
ワンタッチ写メール 撮影した写真をカンタンに送ります	○	○	—	—	○	○
ズーム 2倍、4倍、8倍まで対応します（※）	○	○	○	—	○	○
壁紙作成 連写撮影した画像を縮小して1枚の壁紙を作ります	—	—	○	—	—	—
アニメーション作成 連写撮影した画像を選択してアニメーションを作ります	—	—	○	—	—	—
輪郭抽出 自作フレームで撮影合成したり、背景と切り抜いた画像を合成します	—	—	—	—	○	○
らくがき 撮影した画像にスタンプや文字を貼り付けます	○	○	—	—	○	○

※通常モード、旅モードは撮影サイズ（☞8-15ページ）がW120×H160で8倍、それ以外は4倍までです。連写モードは2倍までです。

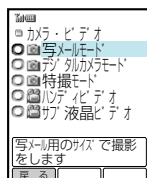
■カメラを起動し静止画を撮影する

例 写メールモード（通常モード）で撮影する場合

1 Menu ◯ の順に押す

● 待受画面で◯を長く（約1秒以上）押してカメラを起動することもできます（写メールモードで起動します）。

2 ◯で「カメラ・ビデオ」を選択し、●を押す

● デジタルカメラモードで撮影する場合は、◯で「**デジタルカメラモード**」を選択します。

3 ◯で「写メールモード」を選択し、●を押す

撮影したい画像をディスプレイに表示します。

● 撮影画面での操作については8-3ページを参照してください。

撮影画面

4 ●を押す

▶シャッター音が鳴り、撮影した画像がディスプレイに表示されます。

● 下サイドキーでも同様の操作が行えます。

● 撮影をやり直す場合は、Clearを押したあと◯で「**破棄する**」を選択し、●を押します。

5 ◯（登録）を押す

▶撮影した画像がデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。

● 登録した画像のファイル名は、撮影日時になります。

重要 暗い場所では光量が不足するため、画質が落ちて白い点が見えてきます。明るい場所で撮影することをおすすめします。

補足
● データフォルダが一杯の場合は、操作5のあと「**空き容量が不足していますデータフォルダのファイルを消去しますか？**」と表示されます。消去する場合は「**YES**」を選択し、不要なファイルを消去してください（☞9-14ページ）。
● 撮影した画像を自動登録することや登録するフォルダを設定することができます（☞8-28ページ）。
● カメラ・ビデオ起動中に無操作の状態で約3分30秒経過すると、待受画面に戻ります。

■ 特撮モード撮影をする

特撮モードには、自作フレームと撮影画像を合成するバーチャルウィッグモードと、背景画像と撮影画像を合成するバーチャルトリップモードの2種類のモードがあります。

バーチャルウィッグモードで撮影する

輪郭抽出により撮影画像を切り抜いてフレームを作成し、そのフレームに合わせて静止画を撮影して、はめ込み画像を作成することができます。

● プライバシーの侵害とならないよう適切なご使用を心がけてください。

つづく▶

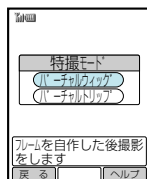
1 次の操作で「特撮モード」を選択する

① Menu (○)の順に押す

② (◎)で「**カメラ・ビデオ**」を選択し、(●)を押す

③ (◎)で「**特撮モード**」を選択する

2 (●)を押す

- (ヘルプ)を押すと、カーソル上の特撮モードの操作ガイドが表示されます。(◎)で操作手順が確認でき、(戻る)を押すと右の画面へ戻ります。

3 (◎)で「バーチャルウィッグ」を選択し、(●)を押す

バーチャルウィッグ撮影画面

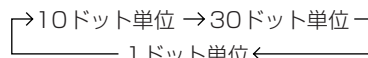
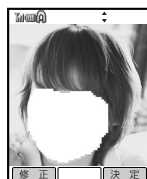
フレームとして撮影したい画像をディスプレイに表示します。

- 撮影ガイドは画像を切り抜く範囲を表します。(✱)、(#)で撮影ガイドのサイズ変更ができます。
- Menu (メニュー)を押して、撮影ガイドの形を変更(☞8-20ページ)したり、切り抜きの精度を設定(☞8-21ページ)することができます。

4 (◎)で撮影ガイドの位置を指定し、(●)を押す

▶シャッター音が鳴り、撮影した画像が表示されます。

- を押すたびに撮影ガイドの移動単位は、次のように切り替わります。

→10ドット単位 →30ドット単位 → 1ドット単位 →

- 下サイドキーでもシャッター操作が行えます。
- 撮影をやり直す場合は、(Clear)を押したあと(◎)で「**破棄する**」を選択し、(●)を押します。

5 ([決定])を押す

▶切り抜き画像をデータフォルダのフレーム1フォルダに登録後、撮影画面になります。
このあと、切り抜かれた部分に撮影したい画像を表示し、8-5ページの操作4以降を行います。

操作5の画面ではフレーム部分の画像が多少汚くなりますが、このあと切り抜かれた部分の撮影をして合成されると、綺麗な画像になります。

- 切り抜きの位置を変更する場合は…
  操作4の画面で(修正)を押したあと(◎)で撮影ガイドの位置を指定し直し、(再実行)を押します。
- 操作4の画面で(修正)を押したあとMenu (メニュー)を押して、切り抜きの修正(**撮影ガイド変更**/**切り抜き精度**)の操作を行うことができます。
- 撮影した画像を自動登録することや登録するフォルダを設定することができます(☞8-28ページ)。
- カメラ・ビデオ起動中に無操作の状態で約3分30秒経過すると、待受画面に戻ります。

バーチャルトリップモードで撮影する

背景画像を選択し、背景に合わせた位置で撮影したあと切り抜き、背景と合成させた画像を作成します。あたかもそこで撮影したかのような画像を作成することができます。
背景は以下の項目から選択することができます。

・**ピラミッド**/**月面着陸**/**戦う**/**手のひら**/**仕事中**/**データフォルダ**

・データフォルダに画像が保存してある場合は、「**データフォルダ**」から選択できます。

例 背景に「**月面着陸**」を設定する場合

1 次の操作で「特撮モード」を選択する

① Menu (○)の順に押す

② (◎)で「**カメラ・ビデオ**」を選択し、(●)を押す

③ (◎)で「**特撮モード**」を選択する

2 (●)を押す

- (ヘルプ)を押すと、カーソル上の特撮モードの操作ガイドが表示されます。(◎)で操作手順が確認でき、(戻る)を押すと特撮モード選択画面へ戻ります。

3 (◎)で「バーチャルトリップ」を選択し、(●)を押す

- (確認)を押すと、カーソル上の背景が確認できます。

4 (◎)で「月面着陸」を選択し、(●)を押す

▶背景画像が表示されます。

- (✱)、(#)で撮影ガイドのサイズ変更ができます。
- Menu (メニュー)を押して、撮影ガイドの形を変更(☞8-20ページ)したり、背景を変更することができます。

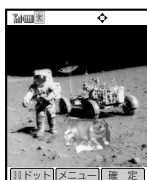
つづく▶

5 (ナビキー)で撮影ガイドの位置を指定し、(決定)を押す

▶撮影（切り抜き）画面になります。撮影したい画像を撮影ガイド内に表示します。
● (キー)を押すたびに撮影ガイドの移動単位は、次のように切り替わります。

→10ドット単位 →30ドット単位 → 1ドット単位 →

6 (●)を押す

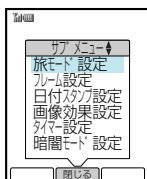
● 下サイドキーでも同様の操作が行えます。
● (ナビキー)で切り抜き画像の位置を移動することができます。
● 撮影をやり直す場合は、(Clear)を押したあと(ナビキー)で「**破棄する**」を選択し、(●)を押します。

7 (確定)を押し、(登録)を押す

▶合成画像がデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。
● 登録した画像のファイル名は、撮影日時になります。

補足
● 操作*6*の画面で(Menu)(メニュー)を押して、合成した画像の編集（**切り抜き修正**／**背景変更**／**JPEG設定**）の操作を行うことができます。
● 撮影した画像を登録するフォルダを設定することができます（☞8-28ページ）。
● カメラ・ビデオ起動中に無操作の状態で約3分30秒経過すると、待受画面に戻ります。

■旅モード撮影をする

写メールモードでは、旅モード設定により日付と位置情報を画像に貼り付けることができます。

1 撮影画面（☞8-5ページ）より、(Menu)(メニュー)を押す

2 (ナビキー)で「旅モード設定」を選択し、(●)を押す

3 (ナビキー)で「ON」を選択し、(●)を押す

撮影したい画像をディスプレイに表示します。
● 通常モードに戻すには操作*1*、*2*のあと(ナビキー)で「OFF」を選択し、(●)を押します。
● 撮影画面での操作については8-3ページを参照してください。

4 (●)を押す

▶シャッター音が鳴り、撮影した画像と日時・位置情報が表示されます。
● 下サイドキーでも同様の操作が行えます。
● 撮影をやり直す場合は、(Clear)を押したあと(ナビキー)で「**破棄する**」を選択し、(●)を押します。

5 (登録)を押す

▶撮影した画像がデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。
● 登録した画像のファイル名は、撮影日時になります。

重要
● 旅モード設定は、撮影サイズが11行：待受1、W144×H176、W120×H160以外では設定できません。
● ステーションの位置情報（☞Vodafone live!編）を取得していない場合は、位置情報は表示されません。位置情報は自動的に更新されますが、正しく表示されない場合は、手動で更新してください。

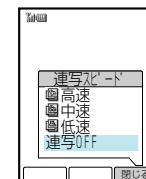
補足
● 撮影した画像を自動登録することや登録するフォルダを設定することができます（☞8-28ページ）。
● カメラ起動中に無操作の状態で約3分30秒経過すると、待受画面に戻ります。
● 旅モード設定は、カメラモード切り替え時または終了時「OFF」に戻ります。

■連写撮影をする

写メールモードでは、連写モードに切り替えることにより、連続して9枚の画像を撮影することができます。また、連写モードでは連続して撮影される時間の間隔（連写スピード）を3種類の中から選択することができます。

例 「**中速**」で撮影し、必要な画像のみを登録する場合

1 撮影画面（☞8-5ページ）より、(連写)を押す

つづく▶

2 （上下キー）で「中速」を選択し、（●）を押す

撮影したい画像をディスプレイに表示します。

- 画面上段に以下のアイコンが表示されます。
  - ・（アイコン）：高速
  - ・（アイコン）：中速
  - ・（アイコン）：低速

3 （●）を押す

▶シャッター音が鳴り、画像が連続して撮影されます。

- 下サイドキーでも同様の操作が行えます。
- （[中止]）や下サイドキーを押すと、撮影を中止します。

▶撮影した画像が表示されます。

- 撮影をやり直す場合は、（Clear）を押したあと（上下キー）で「**破棄する**」を選択し、（●）を押します。

4 （上下左右キー）で不要な画像を選択し、（[チェック]）を押す

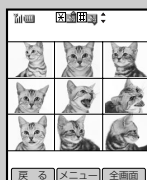
チェック（☑）をはずします。

- 再度（[チェック]）を押すと画像がチェックされます。
- （●）を押すと、画像を実際のサイズで確認できます。

5 （[登録]）を押す

▶チェック（☑）している画像と、撮影した画像すべてを縮小して1枚にまとめた画像がデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。

- 登録した壁紙のファイル名は、撮影日時になります。また、各画像のファイル名には、撮影日時のあとに番号（撮影順に1〜9）が付きます。

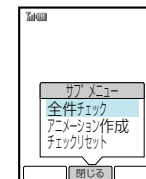
- 登録した壁紙をデータフォルダで確認すると、右のように表示されます。

- 連写モードを解除する場合は、操作*1*の画面で「**連写OFF**」を選択したあと（●）を押します。また、カメラを終了しても解除されます。

アニメーションを作成する

連写で撮影した画像からアニメーションを作成することができます。

1 連写撮影をする

- ここまでの操作については8-9ページを参照してください。

2 不要な画像についてはチェック（☑）をはずし、Menu（[メニュー]）を押す

3 （上下キー）で「アニメーション作成」を選択し、（●）を押す

4 （上下キー）で「YES」を選択し、（●）を2回押す

▶作成したアニメーションがデータフォルダのアニメーションフォルダに登録されます。

アニメーションを登録した場合は、チェック（☑）した画像とそれらを1枚にまとめた画像もデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。

撮影した静止画を写メールで送る

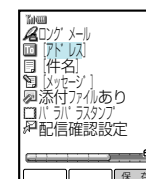
撮影した画像をボタン1つでデータフォルダに登録し、ロングメール作成画面へ添付することができます（ワンタッチ写メール）。

1 静止画を撮影する

- ここまでの操作については8-4ページを参照してください。

2 （[写メール]）を押す

▶データフォルダ登録後、画像が添付されたロングメール作成画面になります。

- 送信方法についてはVodafone live!編を参照してください。

- ワンタッチ写メールはデジタルカメラモードでは利用できません。
- 自動登録の設定（☞8-28ページ）が「**ON**」に設定されている場合は、ワンタッチ写メールは利用できません。

添付する画像が約6Kバイトを超える場合は、画像を圧縮したり、分割して送信することができます（☞Vodafone live!編）。

8 カメラ・ビデオ機能